

コード	401030103
記入日	H27.11.6

新規事業評価表【事前評価】

作成年度	平成 27 年度
------	----------

課コード	112
課 名	水産課
課長名	石司 泰栄
担当者	濱口 友司

評価対象事業名称	パーク&ライド駐車場（白浜地区野営場）整備事業	事業種類	単年度事業
		事業期間	平成 27 年度 ～ 平成 27 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	4	政策名称	地域資源を活かした「産業のしま」	款コード	6
施策コード	401	施策名称	水産業の振興	項コード	3
基本事業コード	40103	基本事業名称	水産業基盤整備の推進	目コード	2
事務事業コード	4010301	事務事業名称	水産業施設管理事業（振興）	細目コード	840
関連計画	法令・条例規則等				

計画（PLAN）

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標			
(対象1)	頭ヶ島天主堂訪問者	(対象指標1)	350人/日		
(対象2)	新上五島町が管理する道路の利用者	(対象指標2)	交通量（車）115台/日		
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標			
・町道白浜線の交通渋滞緩和を目的として実施するパーク＆ライドのシャトルバス巡回及び待機ができるよう既存駐車場の改修を行う。 →駐車場整備 1.0式		(活動指標名称)	(活動指標数値)	(指標積算根拠)	(目標達成年度)
	①	駐車場改修工事	1.0式		平成27年度
	②				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標			
・「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の構成資産である「頭ヶ島天主堂」を訪れる観光客は、来年の登録を契機に益々増加することが予想される。教会付近の駐車場が不足していることから、現在入り込みがある観光バスや観光タクシー、レンタカー等の交通渋滞緩和、駐車場不足を解消するためパーク＆ライド方式で使用するシャトルバスの巡回、待機場所を確保する。		(成果指標名称)	(成果指標数値)	(指標積算根拠)	(目標達成年度)
	①	安全確保及び利便性向上	-	-	平成27年度
	②				

実施（DO）

	単位	全体計画	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度以降
		H 27 ～ H 27							
活動指標	① 式	1	1						
	②								
成果指標	①								
	②								
総事業費 C (A+B)		千円	2,721	2,721					
直接事業費 A		千円	2,021	2,021					
人件費 B		千円	700	700					
内 訳	従事職員数	人	0.1	0.1					
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
C の 財 源 内 訳	国補助金	千円							
	県補助金	千円							
	起 債	千円							
	そ の 他	千円							
	一般財源	千円	2,721	2,721					

評価 (CHECK)

評価項目		内 容
1 次 評 価	・事業の緊急性・必要性はありますか。	世界遺産登録を控え、頭ヶ島天主堂への町道白浜線の渋滞緩和を図るうえでパーク＆ライドによるシャトルバスの運用が必要であり、大型バスの時間調整場所としての駐車場や来訪者の駐車場を事前に整備しておく必要がある。
	・事業の対象・目的は適切ですか。	頭ヶ島天主堂周辺の交通渋滞緩和を図るためにも必要不可欠であり適切である。
	・町が税金を投入して行う必要がありますか。	世界遺産登録による観光客の増加が予測される中で、受入体制の整備として町が行う必要がある。
	・事業を行わない場合の影響はありますか。	駐車場の不足や大型バスの待機場がなくなり、白浜線での渋滞や事故等が懸念される。
	・事業費を削減できませんか。（費用対効果）	最低限の整備計画としていることから削減できない。
	・受益者負担は適正ですか。	受益者負担はない。
	・類似事業との整理統合はできませんか。	類似事業はない。

2次評価	頭ヶ島天主堂が近隣住民及び来訪者のために便利で安全に利用できるよう整備することにより、交通安全及び騒音の緩和が図られ、近隣住民の生活環境の改善と来訪者等の利便性向上に繋がり必要な事業と判断するが、パーク＆ライド方式により、海水浴などで白浜地区野営場を利用する住民に支障きたすものと考えられるため、施設のあり方を含め関係課や関係団体等と早急に協議を行うこと。
------	--

3次評価 住民等の意見	
町 の 対 応	

事業の 方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●	●		計画どおりに事業を実施する				次年度以降に計画どおり実施する
				事業内容を見直して事業を実施する				次年度以降に計画を見直して実施する
				実施期間を見直して事業を実施する				次年度以降に類似事業と整理統合して実施する
				事業費を減額して事業を実施する				当分の間は実施しない
				類似事業と整理統合して実施する				

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。